

第9回 JCHO高岡ふしき病院地域協議会

日時	令和元年 7月13日(土) 14時00分		
場所	高岡市立古府公民館 会議室		
各委員	医師会：一般社団法人 高岡市医師会監事		
	たみの医院 院長		民野 均
行政	高岡市福祉保健部健康増進課長 ・保健センター所長		山本 美由紀
地域	元伏木校下自治会連絡協議会 副会長 公益社団法人富山県アイバンク理事長 JCHO高岡ふしき病院支援の会 会長		大黒 幸雄
病院	高岡ふしき病院 院長		高嶋 修太郎
	同 副院長		宮崎 幹也
	同 副院長		和田 攻
	同 看護部長		田井 雅代
	同 事務長		木下 敦士

内 容

委員紹介

高嶋院長から、第9回地域協議会開催の挨拶を行い、協議会の開催趣旨（独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第5条）により、高嶋院長が議長となり議事に入った。

議 事

- 1、地域協議会の目的及び運営実績と運営方針、在宅支援の取組み、今後の当院の役割について
 - (1) JCHO及び当院の運営状況について
事務長より当院の運営状況等についてスライドにて説明を行った。
 - (2) JCHOにおける当院の位置づけと、今後の運営方針について
院長より説明
 - ・9月より電子カルテを稼働させる。
 - ・新たに大規模の健診事業所の健診を行うこととなった。
 - ・地域包括ケアの要となるために、高岡ふしき（伏木・古府・太田）地域包括ケア講座の開設に向けた取組みを行う。
当院と地域包括支援センター、行政が一体となって、医療・介護・

- 福祉の横のつながりを一層密にする活動を行っていく。
- (3) JCHO高岡ふしき病院支援の総会のプログラムについて
プログラムを参考資料として提示した

2、各委員からの意見

高嶋院長

当院へのご要望、ご意見は如何でしょうか。

民野委員（高岡市医師会監事）

事業の拡大について説明があり、伏木・古府・太田の地名を強調されていますが、この近辺ですと、吉久、姫野など小矢部川河口側のところが距離的には一番近いと思います。交通の便は悪いのですが、橋もできました。この地域の方々の地域包括を広げていけば、人数も確保できるのではないのでしょうか。

高嶋院長

伏木・古府・太田地区だけでなく、他の近隣の方々にも来ていただきたいと思っています。実際に訪問診療や訪問看護も遠くまで行っています。高岡ふしき（伏木・古府・太田）地域包括ケア講座をこの地区にしたのは、高岡市の行政で地域包括支援センターが11の地区に分かれていて、その中の伏木・古府・太田地区から始めてから近隣の地区にも呼び掛けていきたいと考えていますので、地区を限ったものではありません。

民野委員（高岡市医師会監事）

伏木の地域ではよく活動されていますので、もう少し広げていただけたらと思います。

高嶋院長

今後も連携はとっていきますし、さらに広げていきたいと思っています。まずは、伏木・古府・太田地区でしっかりしたものを構築してからとご理解いただきたいと思っています。

山本委員（高岡市福祉保健部健康増進課長）

伏木・古府・太田地区の基幹病院として、急性期から回復期まで幅の広いまた質の高い医療を提供していただいていることが市民の安心・安全に繋がっていることにたいへん感謝します。

がんの早期発見など健診業務について説明がありましたが、健診センターに限られる中市の要望を聞いていただいていることも感謝いたします。

高岡ふしき（伏木・古府・太田）地域包括ケア講座の開設については、高岡市の「あっかりライフ支援システム」のモデル事業として、保健師などが参加し、みなさんとともに健康増進に努めていきたいと考えています。

民野委員（高岡市医師会監事）

運営状況において新たに2000名程の従業員について健診業務を行うこととなったと説明がありましたが、産業医をお願いすることはできないでしょうか。産業医により外来患者数を増やすことができるのではないのでしょうか。

高嶋院長

当院でも幾つかの事業所と契約を結び産業医を派遣しています。

民野委員（高岡市医師会監事）

産業医活動から受診者を増やすことに繋がると思います。

高嶋院長

受診者をふやすことと、事業所を増やす取り組みを行っており、今後も広げていきたいと思えます。

木下事務長

産業医の派遣は多くの事業所に対して行っていますが、医師の人数も限られており、さらに産業医を増やすことは厳しいところまで来ています。

高嶋院長

医師を増やす必要があり、富山大学にお願いをしています。連携を取りながら当院にも医師を派遣していただけるよう取り組んでいます。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会 副会長）

民野委員がお話しされたように地域を広げる取り組みを行っていただきたいと思えます。

宮崎副院長

資料にて、入院患者数や外来患者数を説明しましたが、訪問診療を下火になってきています。独居が多いとか人口が限界になっているため訪問診

療が増えていません。訪問診療については、地域を限定していませんので、医師会等にもアピールをして訪問診療を広げていきたいと思ひます。入院についてもレスパイトなど受け入れができるので、広げていきたいと思ひます。開業医の先生方にも広報してきたいと思ひます。

和田副院長

伏木地域は小矢部川を超えると高岡市から離れた地域と認識され、伏木のことば伏木でと聞いたことがあります。その中で民野先生の方からたくさん紹介をいただきありがとうございます。当院の医師はそれぞれが専門性を持ちながらもプライマリーなこともできる資質をもっています。特に高齢者の場合は、専門家ではなくいろいろな申請のことや家庭のことともみれるように関わっていますので、そのような医師が多いということば、医師会の方でも声をかけていただければありがたいです。救急においても、第2・第4に救急当番日を共同で行っていますが、まだまだ件数が少ないので、声をかけていただければありがたいです。

木下事務長

次回の地域協議会は病院での開催を予定しています。

電子カルテの稼働後の状況等をご説明できるよう予定しています。

これをもちまして地域協議会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。